

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>事業所の理念に基づき住み慣れた地域での安心した暮らしを柱に地域住民との交流を図るべく近隣夏祭りへの参加、地域の方との運営推進会議においての意見交換、地域への施設の役割をアピールしている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎朝職員全員の理念の唱和により、常にケアの中に理念を意識、取り組んでいる。ミーティング時には、理念を掘り下げお互いに指摘し合い、具体的な声掛け、ケアの統一を図っている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ご家族様ご面会の方々にも分かり易く見やすい様に理念を掲示している。地域との会合又周年祭では事業所の実践を伝える様にしている。</p>	
隣近所とのつきあい			
4	<p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>日常的な散歩の時には、顔みしりになり声を掛けて下さる方もいるが、気軽に立ち寄って下さる様な関係性は作られていない。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の盆踊りには利用者と共に毎年参加、椅子を勧めて頂く等、交流が図れている。近隣幼稚園の運動会にも応援に出掛けている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地下水を使用している為災害時には地域の方々にも供給出来、他にも炊き出し等利用者だけでなく地域の皆様に貢献できることはないか話し合っている。		センター全体でも考え、誰でも気軽に立ち寄れる様な介護予防教室やお茶会等開催して行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果は、ミーティングで報告し、改善に向けての話し合いの場を設けている。		改善計画までは行っていない為、今後は具体策の検討、実践へつなげて行きたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では事業所からの報告と共に、参加メンバーからの質問意見要望に答え、十分な話し合いが出来る場になる様に考慮している。要望に関しては、事業所全体で取り組みサービスの向上を図っている。		会議で取り上げられた検討事項についての経過の報告を分かり易くまとめ、始めて参加の方にも前回の内容がわかる様な書面を用意して行きたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の議事録を持参し、交流の場を持つ様にしている。		市職員にも、どんどん事業所に足を運んで貰い利用者と触れ合って頂く機会を設けていきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	利用者の中に成年後見制度を利用している方がいる為、随時職員に説明している。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会やミーティングにて学ぶ機会を設けている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>時間を取り、利用者や家族の不安なこと疑問点について、説明し連携医療等できるサービスやできない事も明確に説明している。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>介護相談員の方が毎月来所され、利用者の相談に乗って頂いている。利用者の言葉から要望を汲み取り、意向に添う様に、外出等考慮しているが、まだ実行できていない。</p>	<p>利用者の要望に沿い短時間個別での外出を多く取り入れて行きたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月近況報告にて現在の生活の様子、取り組んでいる課題をお知らせしている。毎月グループホーム便りにて行事の際の写真を見て頂き、その時の様子を記事に伝えている。健康状態に変化があった場合は電話連絡にて、速やかに家族に報告している。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>2月に一度の運営推進会議では、話し易い雰囲気作りを行い、参加された方全員に意見や質問など必ず述べて頂いている。毎月送る近況報告には必ず苦情窓口の氏名を提示、いつでもどんな事でも相談して下さいと繰り返しお知らせしている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月ミーティングを開催、その時々でテーマを決め話し合い意見を聞き反映させている。又、日頃からコミュニケーションを図る様心掛けている。</p>	<p>率直な意見を出している人もいるが、何も話さない人もいる為、個別で話す機会を増やしたいと考えている。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>必要に応じて柔軟な職員配置調整をその都度行っている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>各ユニットの職員を固定化、利用者、家族への信頼関係を築く事を重点に置いている。新しい職員が入った時には利用者にキチンと紹介し、ユニットの先輩として色々教えて貰える様工夫している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ヘルパー資格を持たない人にも業務の中で育成し、助成金制度を設けている。会社全体で介護福祉士取得を推進、本社では養成講座を行っている。又、外の研修へも積極的な参加を推進している。</p>	<p>外で行われているセミナーを誰でも参加する事が出来る様奨励し、又セミナーに参加した職員の研修報告、勉強会をセンター内で取入れて行きたい。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他グループホームへの見学研修会は行われていないが、他センターへの研修及び月1回県内そよ風グループホーム職員で勉強会を行っている。</p>	<p>他事業所との交流、学習会を取り入れていきたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>定期的に面談を行い、ストレスや悩みを把握する様努めている。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行っている、又、職員が向上心を持って働ける様職能評価を行っている。現場にも顔を出し、状況を把握する様努めている。</p>	
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前面談では本人より良く話を伺い、ニーズを察知し理解する様努めている。サービスの利用についての相談には、必ず本人に会って心身の状態や思いに向き合い信頼関係作りにも努めている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前面談で家族も求めているものを把握し話し合いを行っている。入所に至るまでの様々な苦労話やサービスの利用状況を時間をかけてゆっくり伺う時間を作っている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人や家族の話から状況を確認し、改善に向けた支援の提案をし、信頼関係を築き、必要なサービスにつなげる様にしている。(デイサービス、ショートステイ入所等)		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご見学に来ていただき、ご家族様・ケアマネとセンター側との話し合いで、ご本人様が場の雰囲気馴染める様連携を図っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、昔ながらのお裁縫の腕前や知識特技を発揮できる機会を多く作っている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ケアカンファレンスにはご家族にも参加して頂き意見を交わしながら同じ視点で情報交換を行っている。又、何か変化があれば家族に蜜に連絡を取っている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族参加の行事を多く設け、共に料理を作ったりする中で家から離れていてもより良い関係が継続する様支援しており、又、年賀状、暑中見舞いを出す事により関係が途切れない様配慮している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	法事や墓参りは以前の生活同様続けられている利用者があり、今までの生活習慣を尊重している。		馴染みの店に行く機会を多く作り以前同様の生活に近づける様取り組みたい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員で話し合い相性を良く見極めた席決めをし、楽しく関わり合いを持てる様配慮している。利用者同士も円滑な関係になる様、一緒に多くの会話を持つ様にし、また、場面によっては間に入り調整役を努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご家族から状況報告のお手紙を頂く事がある。		
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話する機会を多く取る事でその方の思い要望を汲み取り、意向に添える様なケアプランを職員で検討し推進している。		まだまだ実現できていない物も多く一人一人の希望をかなえてあげる様取り組んで行きたい。又、表現できない方にも表情などを汲み取り、楽しい時間を共有していく様取り組みたい。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人自身の話や、家族の面会時に少しずつ把握するように努めている。又、家族の許可を頂き友人、知人等の訪問時にも話を伺っている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者の生活のリズムを理解し、行動や動作から感じ取るようにしている。出来る事を明確に把握し、励行している。		意思の疎通が困難な方も、声掛け、行動、表情小さな動作から出来る事を把握し、皆で検討する機会を多く取って行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族には、日頃から思いや要望意見を良く聞き反映させるようにしている。職員全員で意見交換し家族を含めたカンファレンスを行っている。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画期間終了前には、ケアマネ、職員全員で話し合いを持ち計画の見直しを行い、ご家族にも参加して貰っている。又、変化があった場合も、随時見直しを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日勤帯夜間帯を通し個々のケース記録を細かく記入、情報の共有を図り、ケアの参考にしたり計画の見直し時に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院時やその他の送迎等必要な支援を心掛け柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	広くボランティアを募り、その人その人に合ったボランティアとの触れ合いの機会を設け、又、定期的に民生委員の方との接点を設けている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人やご家族の希望や必要性に応じて訪問理美容や訪問歯科サービスを導入し利用して頂いている。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	定期的な運営推進会議には、地域包括支援センターの職員に参加して頂き意見の交換を行っている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望に応じ、かかりつけ医の個別往診、センターとしての往診医を選択して頂き又、通院等の職員付き添い代行等支援を行っている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症専門医との関係を築き現況は落ち着いて生活していただいている。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>訪問診療の看護師と気軽に相談できる信頼関係を築いている。又、特変あった場合は、センター常駐ナースに相談助言を受けている。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院先へ足を運び、ご本人の回復状況について病院関係者や家族との話し合いを細目に行い退院後ご家族も本人も安心して過ごせる様、相談や情報交換に努めている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期についての対応指針について家族医師を交えて話し合いを行っている。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること、できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>ご家族とは早い段階から話し合い、終末期をより良く暮らせるよう、かかりつけ医、常駐ナースとの連携を図り、チームを組んで取り組んでいる。又、急変した場合の対応も蜜に医療機関と連携を図り職員統一して取り組んでいる。</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>家族、関係者との情報交換をしている。</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>ミーティングを通し日々の業務のな中で常に全員がプライバシーの尊重、誇りを傷つけない対応を心掛けている。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>日々の声掛けにおいては話を引き出す様に努め、お話の中から思いや希望を汲み取り、お茶の時間等些細な事でも選択する機会を多く設けている。</p>	<p>献立を皆で決め、買出しに行く等自分で食べたい物を選び、満足感を味わえる場を多く取り入れて行きたい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の流れは決まっているが、ご利用者様中心であり一人一人のペースと意思を尊重し自由に過ごして頂き、又、日頃の希望により外出等も取り入れている。</p>	<p>行事の外出は取り入れているが、その日の希望に沿って個々に外出する機会を設けていきたい。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ご本人ご家族の希望があれば、行きつけの美容院まで送迎している。又、行事外出の際にはお出掛け着やお化粧の声掛けにより身だしなみを整える支援を行っている。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と職員が状況を見て、準備、調理片付けに日課として取り組んでいる。又、同じテーブルを囲み同じ物を食べ、家族的な奮因気作りに取り組んでいる。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>ご本人が望むおやつ等はご家族様からお預かりし職員が状況を見て危険の無い様提供している。又、一人一人の好みを把握しており、出前やデザートを食べに行く等好みの物を楽しむ機会を多く設けている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表により、ご本人の排泄パターンを把握、失敗する前にトイレ誘導を行っている。日中フラット使用だった方はリハパンに移行しトイレで排泄をおこなうようにした。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日を決めているが要望があれば曜日を問わず入浴していただいている。入浴の用意を一緒に行いゆっくりとしたペースで入浴をおこなっている。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の状況に合わせて、夜に影響ある方の昼寝は時間を決めている。又、眠れないと不安のある方には、散歩、掃除レクリエーション等日中の活動を提供し、メリハリのある生活を支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人の力と興味に応じ洗濯 干し、洗濯たたみやお花の水遣り、調理等役割を分担、又、特技趣味を披露する場面を多く設け、張り合いのある毎日になる様に支援している。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族よりお預かりしているお小遣いで好きな物を購入する場を設け支払いを自分で行う様支援している。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩を日課とし、要望に沿って買い物等取り入れている。戸外へ出る事によって、四季の移り変わりを感じて頂く様に支援している。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者の要望を聞き、ご家族にも参加して頂き、外出行事を多く取り入れている。又、個別で買い物、デザートを食べに行く等気分転換を図る様にしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎年、年賀状、暑中見舞いをご本人に書いて頂いている。又、希望があった方には電話や手紙のやり取りができる様支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問して頂ける様に面会時には気を配り、再訪して頂いている。お茶出し等も職員ではなく利用者様にやって頂き、あたたかい奮因気作りに努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングや日々の申し送りで声掛けや対応を振り返り、気付かないうちに身体拘束が行われていないか確認、又、上司からも身体拘束については細かな指導を受けている。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ユニットの玄関は自由に出入りできるが、建物の構造上、1階への移動時には職員同行である。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に全員が何処で何をしているかさりげなく、又、プライバシーを尊重しつつ、把握している。夜間帯も同様にすぐに対応できる場所に待機している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	しっかりと、安全の確保に基づき、裁縫調理に取り組んで頂いている。保管においても徹底して定物定位で管理している。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	日々の業務の中で全員がヒヤリハットに気付き取り組み事故を未然に防ぐ話し合いをミーティング時毎回議題に上げている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルを作成し、全員が対応できる様にしている。また、普通救急講習会にはセンターとして全員が受けられる様取り組んでいる。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	常日頃より非難訓練、非難経路の確認を行っている。又、運営推進会議でも地域の方々と災害対策等の話をしている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	一人一人のリスクについてはミーティング時話し合い未然に防ぐ努力をしている。又、ご家族にも随時説明を行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一日二回バイタルチェックを行い体調の変化に早く対応できる様にしている。異変が合った時は、管理者に速やかに報告相談の上状況に応じて医療受診を行っている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイル、チェック表を作成、処方箋はすぐ目に付くケース記録にとじ、職員全員が把握している。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維のある食材を工夫し、運動を働きかけ、薬に頼るのではなく自然排便を考慮している。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きの声掛けし、必要に応じ見守り介助を行っている。就寝前には義歯の洗浄を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量のチェック表を作成、水分摂取が少ない方には、声かけし、細目に水分を摂って頂いている。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎日の手洗い、うがいの励行実施で予防に取り組み、万が一感染症が発生した時に備え対応マニュアルを作成、共有している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理前の手洗い消毒はもちろんの事、毎日フキン、調理器具の殺菌消毒乾燥を行っている。又、その日作った物はその日のうちに食べ、残り物など処分し、次にまわさない様にしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には植木、置物を配置、又、利用者様による毛筆の表札を飾り、あたたかさを出す様工夫している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの飾り付けはご利用者様が小さな頃から慣れ親しんでいる昔ながらの物を配置し、居心地良く落ち着いて過せる様配慮している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでは皆様が座ってくつろげる様ソファを配置、又、和室には座椅子など置き、昔ながらの空間に触れて頂いている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から使用されていたタンスや椅子又、仏壇など持ってきて頂き、本人が落ち着いて過せる様にしている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝の清掃時には、必ず換気をし、冷暖房もあまり強すぎない様、外との気温差を少なくしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、フロア内浴室に手すりを配置、安全確保、自立への支援を行っている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ミーティング、カンファレンスを行い、一人一人のADLを全職員が把握、できる事できない事に対して常に適切な声掛けケアを行うようにしている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭に花壇を作り花の水遣り、草むしり等職員と利用者様で日課として行っている。又、花壇の花をフロアに飾ったり楽しんでいる。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々の暮らしの中ではレクリエーションの充実と家事を一緒に行いながら、生活リハビリに取り組み、機能の維持回復を図っています。又、気分転換及び四季を感じる様に外出・行事を年間を通して計画実行しています。又、昔から得意であった物が損なわれない様、書道、裁縫、ピアノ等それぞれが腕をふるえる場面作りを行い、生きがいの持てる生活と職員の笑顔とあたたかな声掛けで皆様が安心できる居心地の良い空間作りに取り組んでいます。